

豊橋市民病院だより

青竹

NO.
52

2012.4.2

編集：病院広報紙編集委員会
委員長 鈴木 伸行

- 2 特集 平成26年度開設を目指して
「総合周産期母子医療センター」および「バースセンター」
- 4 事務局から
- 6 新任医師の紹介
提案箱～提案を活用させて頂きました～
- 7 看護局から
- 8 診療技術局から
- 9 くすり箱
- 10 本の紹介
- 11 あとがき
- 12 お知らせ



豊橋市民病院

メディカルラリーの様子

「総合周産期母子医療センター」および「バースセンター」の平成26年度開設を目指して

～整備工事へのご理解とご協力をお願いいたします～

近年、母体、胎児、新生児を総合的に管理し、母と子の健康を守る周産期医療の危機が全国的に叫ばれています。なかでも産科に関わる医師の絶対数が激減しており、出生直後の新生児を診る小児科の新生児専門医も不足しています。この現象は東三河も例外ではなく、病院の産科を閉鎖したり、開業分娩施設も減少して分娩する場所が少なくなっているのが現状です。東三河の産科医療は決して安定したものではなく、いつ「お産難民」が出現しても不思議ではない状態と言えます。

現在、当院は東三河の中核病院として、「地域周産期母子医療センター」に指定されリスクの高い妊婦さんや新生児を扱っており、東三河在住の妊婦さんが他の施設から搬送された場合、当院で可能な限り受け入れができる体制づくりに努めています。しかし、これらの妊婦さんを受け入れることができるようにするために、リスクの低い妊婦さんについては他の分娩取扱施設での対応をお願いしています。また、地元が東三河であっても、東三河以外に居住する妊婦さんには、原則その居住している地域での出産をお願いしているのが現状です。

このような中、東三河地域の医療を守る当院の使命を果たすため、ハイリスク分娩に十分対応できる「総合周産期母子医療センター」の指定を受けるために必要な施設整備を、また、リスクの低い分娩にも対応するため「バースセンター」を、それぞれ当院に開設し、平成26年度からの運用開始を目指します。この6月から開始予定の病棟改修工事により、当院ご利用の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何とぞご理解・ご協力くださるようお願いいたします。

総合周産期母子医療センター（西病棟4階に母体胎児集中治療室（MFICU）を設置予定）

開設により、合併症妊娠、重症妊娠中毒症、切迫早産、胎児異常等の母体又は児においてリスクの高い妊娠に対する産科医療及び新生児医療等、現在よりもさらに高度な周産期医療が行えるようになります。

なお、今回の工事では、総合周産期母子医療センターの開設に必要な母体胎児集中治療室（MFICU）の整備と医療機器等の充実を図ります。これに新生児集中治療室を備える既設の新生児医療センター（NICU／診療棟3階）を合わせ、「総合周産期母子医療センター」の指定を目指します。

バースセンター（東病棟4階に設置予定）

開設により、正常な経過でリスクの低い分娩、また、いわゆる里帰り分娩等にも対応できるようになります。バースセンター専用の分娩室を新設し、病室も個室を増やして母児同室とし、助産師が中心となって分娩のお手伝いや、赤ちゃんに関する講座等も行っていく予定です。

これら施設の開設に向けて、必要な医療スタッフの確保にも積極的に取り組んでいきます。

「総合周産期母子医療センター」および「バースセンター」整備工事について

施設を整備するにあたり、概ね4期に分けて整備工事を進めてまいります。慎重に工事作業を進めてまいります。工事に伴う騒音・振動等や、既存病棟の引っ越し等が発生します。

当院利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご容赦いただきますようお願いいたします。

工事スケジュール(予定) ※工事期間は、状況により前後する可能性があります。

■現在の状態			■平成26年4月～(予定)	
西病棟	東病棟		西病棟	東病棟
	(休床中)	9F		糖尿病内分泌内科 ・眼科・産婦人科
		8F		
		7F		
		6F		
		5F		
産科	小児科・小児外科 ・耳鼻いんこう科	4F	総合周産期母子医療センター (母体・胎児部門)	バースセンター
		3F		
	糖尿病内分泌内科 ・眼科・産婦人科	2F		小児科・小児外科 ・耳鼻いんこう科
		1F		

【1期工事】(H24年6月～11月)

東9階を改装後、現東2階機能を移転

西病棟	東病棟	
	(改装工事)	9F
		8F
		7F
		6F
		5F
		4F
		3F
	糖尿病内分泌内科 ・眼科・産婦人科	2F
		1F

【2期工事】(H24年12月～H25年3月)

東2階を改装後、現東4階機能を移転

西病棟	東病棟	
		9F
		8F
		7F
		6F
		5F
	小児科・小児外科 ・耳鼻いんこう科	4F
	(改装工事)	3F
		2F
		1F

【3期工事】(H25年4月～8月)

東4階をバースセンターに改装
改装後、現西4階機能を移転

西病棟	東病棟	
		9F
		8F
		7F
		6F
		5F
産科	(改装工事)	4F
		3F
		2F
		1F

【4期工事】(H25年9月～H26年3月)

西4階を改装(MFICU整備)

西病棟	東病棟	
		9F
		8F
		7F
		6F
		5F
(改装工事)	バースセンター	4F
		3F
		2F
		1F



外来待ち時間の解消に向けて — 皆さまの理解と協力が必要です —

平成23年度患者満足度調査の結果によりますと、「診察を受けるまで2時間以上を要した方」が予約なしの患者さんのうち約35%、「診察を受けるまでの待ち時間を負担に感じている方」が外来患者さん全体の約40%でした。

長い外来待ち時間は、病気を抱えて診察を待つ患者さんにとって大きな負担となるため、医師をはじめ医療スタッフ全員が効率的な診療をこころがけていますが、その解消がなかなか進まない状況です。

待ち時間が長くなる原因の一つとして、直接来院して受診を希望する新規患者さんの診察に長い時間を要することが挙げられます。こうした患者さんは、情報が少ないため、症状の聞き取りや検査等に多くの時間を必要とするためです。

こうしたことから、当院の受診を希望する新規患者さんは、まず地域の医療機関を「かかりつけ医」として受診し、必要に応じて紹介状持参で当院を受診していただくことがスムーズな診療につながると考えています。

【当院の外来診療の仕組み】

当院の外来診療は、30分単位で診察時間を区切っており、その内訳は概ね次のとおりとなります。

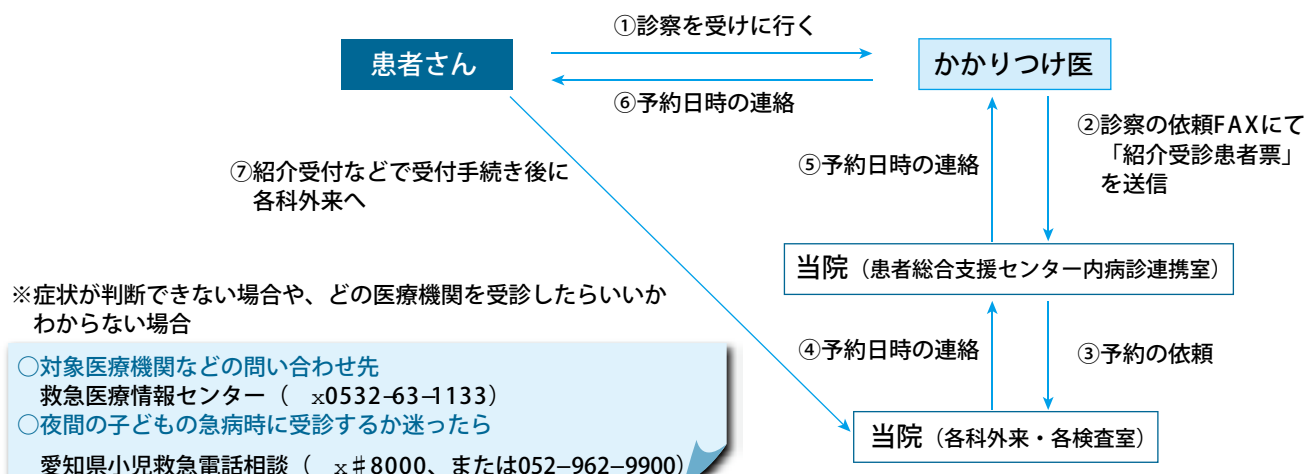
時 間	区 分	人数	内 容
午前〇時～ 〇時30分 ※午後は予約 患者のみ	予約患者	3名	・ 当院に入院し、退院後の外来診療 ・ 地域の医療機関での治療が難しい病気の治療 など
	病診連携室を 通じた予約患者	1名	・ 地域の医療機関からの紹介
	新規患者	2名	・ 直接来院し、受診を希望する患者

かかりつけ医を持つことのメリット

- ◆ 専門的な検査や入院が必要な場合に、当院患者総合支援センター内の「病診連携室」を通じて予約を取り、「紹介状」を書いてくれます。「紹介状」があると病状などがわかり、当院での検査や診察がスムーズに進みます。
- ◆ 「紹介状」がある場合は、選定療養費（大人2100円・小人1050円）がかかりません。
- ◆ 全体的な病状や健康状態の管理を「かかりつけ医」が行ってくれます。

「かかりつけ医」を持つことは、このようにさまざまなメリットがありますので、軽症の場合は地域の「かかりつけ医」の診察を受け、必要な場合に当院を受診していただけると幸いです。

当院とかかりつけ医との病診連携の流れ

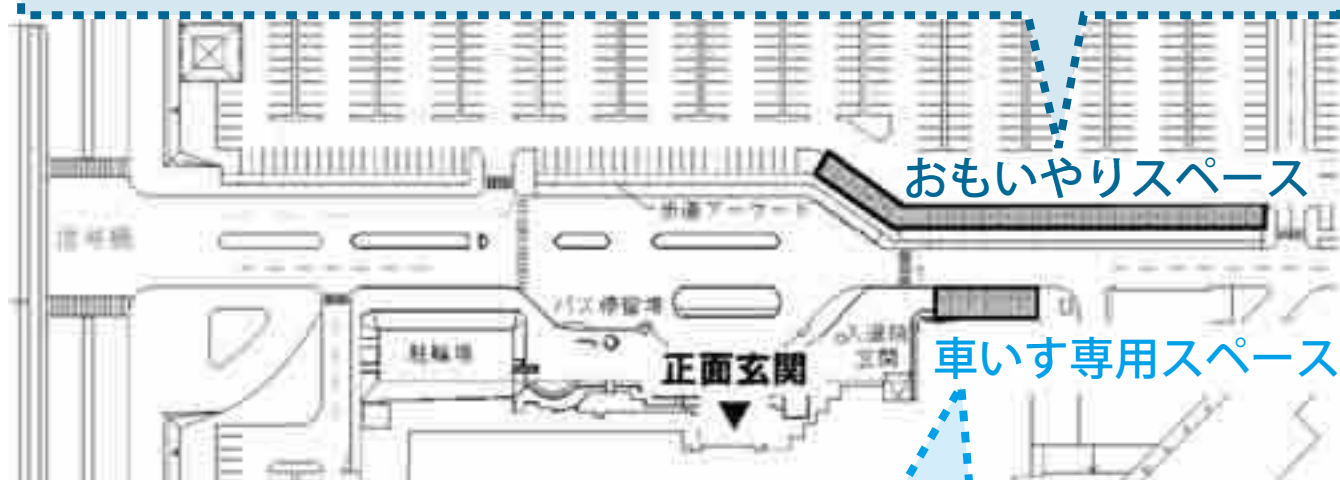


車いす使用者、歩行困難者用駐車スペースについて

当院には、車いすをご使用の方や歩行が困難な方のための駐車スペースが設置されています。

- ・車いす使用者駐車場……車いすをご使用の方専用の駐車場（6台分）
- ・おもいやりスペース……通常の歩行が困難な方専用の駐車場（25台分）
（車いすや松葉杖をご使用の方、妊婦さん、高齢の方等）

一般の方は、上記駐車スペースへの駐車をご遠慮いただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



新任医師の 紹介

- ① 所属 ② 赴任日 ③ 前任地 ④ 趣味
⑤ その他 自由（抱負、自己PR、家族のこと、最近思うことほか）



NEW DOCTOR

平山真理子

- ① 耳鼻いんこう科
② 平成24年2月1日
③ 成田記念病院
⑤ 豊橋市民病院に勤務して
1ヶ月が経ちました。



まだ慣れない事も多いですが、早くお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。
宜しくお願いいたします。



提 案 箱

～提案を活用させて頂きました～

より良い病院づくりのため、本院を利用された皆さんから提案をいただいております。
その中から次の内容について改善、活用させていただきました。ありがとうございました。

提
案
内
容

提案日 平成23年12月

待合所の自動販売機にミネラルウォーターとお茶があると良いと思います。

対
応
内
容

ご提案ありがとうございました。

病棟ではビン・缶・ペットボトルの販売を禁止していましたが、販売する方向で再検討しました。昨年12月に現在の自動販売機事業者へその旨を連絡し、今年1月10日に病棟5階デールームの紙パック専用自動販売機をペットボトルのお茶及び水が入った自動販売機に入れ替えました。今後も販売事業者からの申し出により順次入れ替えます。

提
案
内
容

提案日 平成24年1月

中央検査受付前の椅子と、血液検査6番前の椅子を入れ替えたら受付前の椅子が利用しやすくなるのではないかと。●

対
応
内
容

ご提案ありがとうございました。

より多くの患者さんが座れるよう、椅子の種類とレイアウトの変更を行いました。

看護局から

病棟紹介



東病棟7階は、呼吸器内科31床と耳鼻いんこう科20床合計51床の病棟です。主に上気道（鼻腔・鼻咽腔・咽頭・喉頭）と下気道（気管・気管支・肺）の疾患を対象に手術や化学療法、放射線療法の治療が行われています。また、在宅で酸素が必要な患者さんに酸素導入のための指導や準備などの援助も行っています。呼吸器内科では、冬期になると肺炎や喘息の患者さんが多く入院されます。耳鼻いんこう科では病棟内に処置室が設置されており、5人の医師が交代で毎日診察を行い、24時間体制で緊急時も速やかな対応に心がけています。

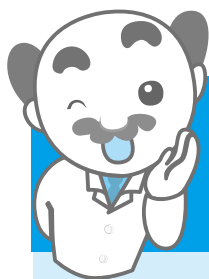


当病棟では患者さんが安心して入院生活が送れるように、看護師30名と医師・薬剤師・理学療法士・栄養士が連携をとりながら援助させて頂いています。また、患者さんが「患者さんらしく生活ができ、辛い治療を無事に終えて一日でも早く退院できる」ことを目標とし、栄養サポートチーム・褥瘡・緩和・感染などのチーム医療を実践しています。



東病棟8階は整形外科40床、皮膚科9床、産婦人科4床の病棟です。整形外科には転倒や交通事故による骨折、スポーツによる靱帯損傷、脊椎や関節の病気による痛みやしびれのために手術を受ける方が入院されています。手術は毎日2～3件ありますが、手術後ひとりで歩いたり入浴できるようになるまでにはリハビリが必要となります。リハビリは主に理学療法士が担当しますが、手術直後は医師が歩行器を使って歩行練習をすることもあります。また、看護師はシャワー浴やトイレ誘導など入院生活を支援していく中で、生活に必要な動作ができるようにリハビリを取り入れています。その結果、患者さんが無事に歩いて退院していく姿を見られることは看護師として最大の喜びです。しかし、完全には治らず、何らかの障害を残したまま退院される場合もあります。そうした場合は医療相談員と協働し、介護保険などの支援体制を利用して退院できる方法を検討します。私たちは、1人でも多くの患者さんが1日でも早く回復されることを願って看護しています。





診療技術局から

放射線技術室

新しい血管撮影装置

循環器用と頭部用の2台の血管撮影装置が新しくなりました。

これらの装置では、心筋梗塞、脳卒中など命に関わる、緊急度の高い疾患の検査・治療を行っています。

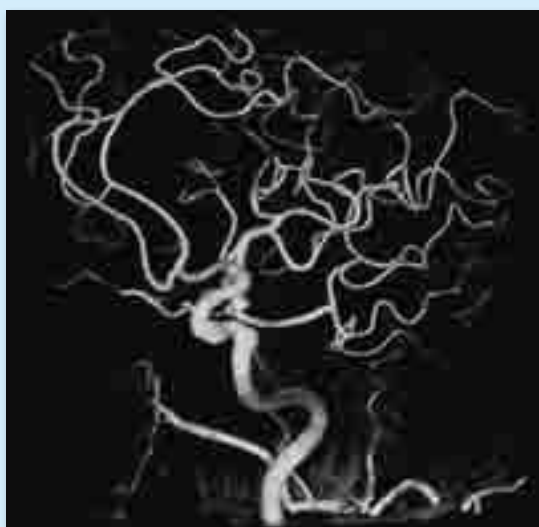


頭部血管撮影装置

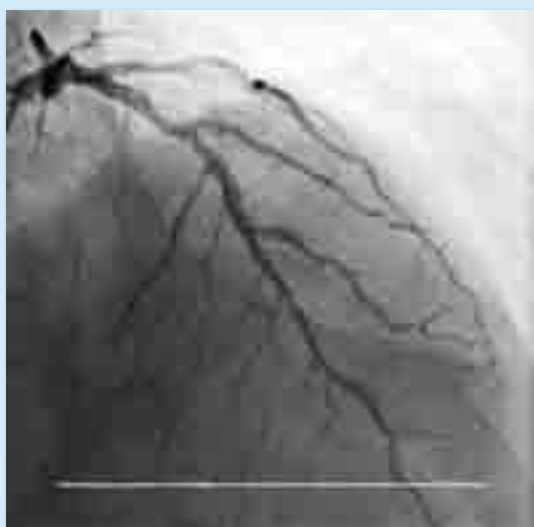
いずれの装置も最新型の装置で、今までよりも少ない放射線被ばくで、高画質な撮影が可能になりました。また、最新のデジタル技術によって血管の三次元表示はもちろんのこと、血管撮影装置でありながら、CT様の画像を作成することもできるようになりました。

複雑に入り組んだ血管もあらゆる方向から観察出来るようになり、今までよりも安全で精度の高い検査・治療に役立っています。

なお、平成24年3月にはCT装置を搭載した最新型腹部血管撮影装置も導入しました。



脳血管像



心臓冠動脈像



後発医薬品 (ジェネリック医薬品)

Q なぜ、国は後発医薬品（以下、ジェネリック）を勧めるのですか？

A 現在、国は患者さんの自己負担の軽減や国全体の医療費を削減する役割の大きいジェネリックの使用促進策に取り組んでいます。
4月から院外処方せんの様式が変更となり、更なるジェネリックの使用促進をはかっています。

Q ジェネリックってどういう薬？

A 先に開発された医薬品の先発医薬品（以下、先発品）に対して、ジェネリックは国が先発品と同等と認めた医薬品です。ジェネリックは、一定期間過ぎて先発品の特許がきれた後、開発企業以外の製薬会社が先発品と同じ有効成分の医薬品として発売されたものです。ジェネリックの薬代は先発品に比べて安価のため患者さんの薬代の負担が減ることが利点です。

Q ひとつの先発品に複数のジェネリックがあるが、どれも同じ？

A 先発品に対して、多くの製薬会社が製造・販売するため複数のジェネリックが存在します。有効成分は同じですが、ジェネリックによって、薬代や添加物、大きさ、におい、味などが異なる可能性もあります。

Q 街の薬局でジェネリックをもらうにはどうするの？

A 病院でもらった院外処方せんが、ジェネリックへの変更が可能となっていれば街の薬局（保険薬局）でもらうことができます。そこで薬剤師から説明を受けた上で患者さんが希望したジェネリックを選んで変更することができます。薬剤師に相談してください。

薬 局

新様式の院外処方せん





～Disease 人類を襲った 30 の病魔～

看護局感染症管理センター師長 高橋 一 嘉

病気（Disease）について書かれた本は数多くありますが、“鑑賞しているだけで楽しめる病気の本”はなかなかありません。そこで、こんな本を紹介したいと思います。表紙の絵が少し怖いDisease人類を襲った30の病魔です。

m 歴史的書物？

この本は1500種類あると言われる病気の中から厳選した30の病気について書かれたものです。難しい専門用語を用いずに書き上げられているため、医学の知識がなくても十分に楽しめる書物となっています。人々の病気に対する考え方やイメージを過去の書物や日記、絵画、風刺画、ポスター、写真などを用いて丁寧な文章で綴っています。また、260ページにおよぶ内容は全てカラーとなっていて、引用資料も美しく印刷されています。これは医学書ではなく歴史的書物（歴史書？）だと言っても過言ではありません。



メアリー・ドブソン著／小林 カ訳

m 感染症の驚異・・・

本書で紹介される病気の4分の3が感染症です。コレラの大流行でパニックになっている1830年代のパリ（フランス）の様子が印象的です。かつては病気と言えば感染症だったのでしょう。ときに命を脅かす感染症に対する不安は現在も同じですね。

現代の生活習慣病と言われるがんや心臓病まで書かれた本書は医学書院から出版されています。

あとかき

豊橋市民病院 院長 岡村正造

診療報酬改定

厳しかった冬将軍が去り、“梅一輪、一輪ほどの暖かさ” そしていよいよ“花の便りが届く季節”の到来です。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。また、東日本大震災で被災された方々には暖かな日差しのもとで1日でも早く元気をとり戻して欲しいと心より願っております。

ところで、今年は2年に1度の診療報酬（公定の医療費）改定の年であり、4月1日から医療ならびに介護費が変わります。全体での改定率は+0.004%と限りなくゼロに近い改定ですので、皆様の総医療費に大きな変動は無いと考えていますが、改定の中身を見ると日本の医療の近未来図が浮かび上がってきます。すなわち、医療費の増加は極力抑える、そのため薬価を約6%引き下げて約5000億円、高価な医療材料費を0.12%下げて約500億円を捻出し、その計5500億円を原資にして約4700億円を医科、500億円を歯科、300億円を調剤関

係の増額資金に割り振ることで全体として限りなくゼロに近い改定としたのです。医科での重点改定項目は、Ⅰ．急性期医療、特に救急・周産期医療の推進と病院医療従事者の勤務体制の改善策、および病棟での薬剤師業務、Ⅱ．地域における医療連携の強化、すなわち、急性期から看取りに至るまでの医療の充実と早期に在宅医療へ移行するための取り組み、Ⅲ．充実が求められる分野、すなわち、がん医療の推進、認知症対策、発症早期からのリハビリテーションなどで、それらを推進するための医療費が増額されました。換言すると、国は地域ごとで各病院・診療所が担うべき役割を明確にし、それぞれの医療施設が求められた役割を果たすこと、病院間ならびに病院・診療所間の連携を密にして患者が適切な医療を受けられる仕組みを構築しようとしているのです。当院の役割は東三河南部地域での高度急性期医療、がん診療、難病医療、周産期医療、災害医療、次世代の医療関係者を育てる臨床研修の拠点としての役割が求められていることはいうまでもありません。職員一同、このような当院に課せられた使命を自覚し、当地域のために貢献できるよう尽力してまいりますので皆様のこれまで以上のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

年度初めから医療費の話題で申し訳なく思いましたが、医療費の改定は皆様の生活に多少なりとも影響を及ぼすかもしれないこと、また、医療費の仕組みを皆さんに少しでも理解していただきたいとの思いからこのような“あとかき”にさせて頂きました。次号では、例年のごとく多くの新しい仲間たちを紹介できると思いますので楽しみにしててください。

お知らせ

ご寄付ありがとうございました。

平成23年度は図書券、絵画1点、備品5台のご寄付をいただきました。

平成23年度の寄付一覧

図書券	20万円
絵画（ミュージシャン）	1点
トースター	1台

折りたたみベッド	3台
車椅子	1台



豊橋市民病院の理念

信頼に応える技術、人に優しい思いやりのある心、地域に開かれた安らぎのある病院

豊橋市民病院の基本方針

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます。

当院のご案内は下記でも行っています。併せてご覧下さい。
豊橋市民病院インターネットホームページアドレス
<http://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp>

